

|         |                                                                                                                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏名      | 村尾航                                                                                                                                                               |
| 授与した学位  | 博士                                                                                                                                                                |
| 専攻分野の名称 | 医学                                                                                                                                                                |
| 学位授与番号  | 博甲第 4035 号                                                                                                                                                        |
| 学位授与の日付 | 平成 21 年 12 月 31 日                                                                                                                                                 |
| 学位授与の要件 | 医歯学総合研究科病態制御科学専攻<br>(学位規則第 4 条第 1 項該当)                                                                                                                            |
| 学位論文題目  | Epidemiology of <i>Chlamydophila caviae</i> -like <i>Chlamydia</i><br>Isolated from Urethra and Uterine Cervix<br>(尿道および子宮頸管から分離されたクラミドフィラ・<br>キャピエ類似クラミジアの疫学的検討) |
| 論文審査委員  | 教授 小熊 恵二 教授 平松 祐司 准教授 四方 賢一                                                                                                                                       |

#### 学位論文内容の要旨

我々は 2000 年に *Chlamydia trachomatis* 用 PCR、LCR 両検査キットでは検出されないクラミジア株 (OK133、OK135) を 2 名の子宮頸管炎患者より分離した。2 株の性状は類似しており、OK135 株の主要外膜蛋白の遺伝子解析により、*Chlamydophila caviae* に酷似していることが判明した。2003 年に男性尿道炎患者 OKM2 より分離、クローン化した SC10-6 株も同様の性状であり、その主要外膜蛋白の遺伝子は OK135 株と同一であった。従って、我々はこれらの株を *C. caviae* 類似株と称し、これらに特異的な nested PCR 系確立のためにプライマー 2 対を設計、男性尿道炎患者 119 例と子宮頸管炎患者 83 例の計 202 例から採取したスワブ検体を検討した。その結果、18 症例 (男性 14、女性 4) が陽性 (陽性率 8.9%) であり、*C. caviae* 類似株の蔓延が示唆された。*C. caviae* 類似株の人に対する病原性については現段階では明らかではない。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、2000 年および 2003 年に、子宮頸管炎や尿道炎の患者より分離した *Chlamydophila caviae* に類似した株 (*C. caviae* 類似株) の、臨床疫学的検討を行ったものである。*C. caviae* 類似株を同定できる新規の nested PCR 系を確立し、男性尿道炎患者 119 例と子宮頸管炎患者 83 例の計 202 例から採取したスワブ検体を検討した。18 症例 (男性 14、女性 4) が陽性 (陽性率 8.9%) であり、*C. caviae* 類似株が蔓延していることを明確に示すと共に、それらの株の性状 (特徴) を詳細に検討している。

よって本研究は重要な知見を得た価値ある業績であり、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。